

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 年 月 日

計画の名称	19 拠点的市街地の形成に資する安全・安心な都市基盤整備の推進																													
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		交付対象	蒲郡市																										
計画の目標	幹線道路ネットワークに繋がる新しい道路整備を行うとともに、一方、老朽化した都市基盤施設は、その機能を維持させつつ、計画的な施設の改良・更新を図ることにより、健全な財政運営の基、災害に強く、地域住民の安全・安心な暮らしを守るまちづくりを行う。																													
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地整備事業施行中のエリアにおける安全・安心生活エリアカバー率を86% (H22) から94% (H27) に拡大</li> <li>整備事業施行学区における、道路整備への住民満足度平均値を、-0.18点 (H21) から-0.07点 (H27) に引き上げる。</li> <li>港湾施設の長寿命化計画の策定率を100%にする。</li> </ul>																													
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害等に対して備えのできた安全生活エリア (整備された幅員6m以上の道路の道路端から一定距離 (概ね幹線道路: 50m、区画道路等: 30m) のエリア) を調査し、市街地整備事業施行面積の合計に占める割合を算出する。 安全生活エリアカバー率 = 安全生活エリア / 市街地整備事業施行面積</td> <td>86.0%</td> <td>90.0%</td> <td>94.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成21年度に行われた市民意識調査 (「第四次蒲郡市総合計画策定に関する意識調査」より) にて集計された、生活道路整備における満足度を、満足+2 やや満足+1 どちらでもない0 やや不満-1 不満-2で評価し、平均値を算出する。</td> <td>-0.18</td> <td>-0.12</td> <td>-0.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長寿命化計画を策定した港湾施設の比率から算出 長寿命化計画策定率 = 策定済港湾施設数 / 全港湾施設数 (13件)</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	災害等に対して備えのできた安全生活エリア (整備された幅員6m以上の道路の道路端から一定距離 (概ね幹線道路: 50m、区画道路等: 30m) のエリア) を調査し、市街地整備事業施行面積の合計に占める割合を算出する。 安全生活エリアカバー率 = 安全生活エリア / 市街地整備事業施行面積	86.0%	90.0%	94.2%		平成21年度に行われた市民意識調査 (「第四次蒲郡市総合計画策定に関する意識調査」より) にて集計された、生活道路整備における満足度を、満足+2 やや満足+1 どちらでもない0 やや不満-1 不満-2で評価し、平均値を算出する。	-0.18	-0.12	-0.07		長寿命化計画を策定した港湾施設の比率から算出 長寿命化計画策定率 = 策定済港湾施設数 / 全港湾施設数 (13件)	0%	100%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																										
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																											
災害等に対して備えのできた安全生活エリア (整備された幅員6m以上の道路の道路端から一定距離 (概ね幹線道路: 50m、区画道路等: 30m) のエリア) を調査し、市街地整備事業施行面積の合計に占める割合を算出する。 安全生活エリアカバー率 = 安全生活エリア / 市街地整備事業施行面積	86.0%	90.0%	94.2%																											
平成21年度に行われた市民意識調査 (「第四次蒲郡市総合計画策定に関する意識調査」より) にて集計された、生活道路整備における満足度を、満足+2 やや満足+1 どちらでもない0 やや不満-1 不満-2で評価し、平均値を算出する。	-0.18	-0.12	-0.07																											
長寿命化計画を策定した港湾施設の比率から算出 長寿命化計画策定率 = 策定済港湾施設数 / 全港湾施設数 (13件)	0%	100%	100%																											
全体事業費	合計 (A+B+C)	125.5百万円	A	125.5百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
区画整理課、道路建設課、土木港湾課、都市計画課	平成29年2月
	公表の方法
	市のホームページに掲載し公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
19-A1-1	街路	一般	蒲郡市	直接		区画	改築	蒲郡駅南地区 ( (都) 松原線)	区画整理 A=19.6ha	蒲郡市						111.9	
19-A1-2	街路	一般	蒲郡市	直接		区画	改築	蒲郡中部地区 ( (都) 本宿線)	区画整理 A=53.3ha	蒲郡市						4.6	
19-A1-3	街路	一般	蒲郡市	直接		S街路	改築	(都) 五井線	バイパス L=130m	蒲郡市						0.0	
19-A1-4	道路	一般	蒲郡市	直接		市町村道	交安	(1) 前道上下大内1号線 外1路線	道路標識 N=2基	蒲郡市						5.0	
小計 (道路事業)												121.5					
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
19-A2-1	港湾	内地	蒲郡市	直接		地方	維持管理	港湾施設長寿命化計画策定事業	外郭施設7件・係留施設6件	倉舞港						4.0	
小計 (港湾事業)												4.0					
合計												125.5					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路の改築では、歩車道の分離をするとともに、歩道のバリアフリー化や点字ブロックを新たに設置をすることで、歩行者の安全性・快適性が向上し、生活道路における住民満足度が向上した。</li> <li>都市計画道路の改築では、植樹帯の整備をすることで、沿道における良好な生活環境が確保され、住民満足度向上に寄与した。</li> <li>都市計画道路の整備により、緊急車両の搬送時間に短縮が見られるなど、災害等に備えのできた安全生活エリアの拡大に寄与した。</li> <li>道路標識（案内標識）を設置することで、車両等の幹線道路への誘導及び生活道路への誤進入を防ぐ効果が見られ、地域住民の生活道路の安全性が確保され、満足度向上に寄与した。</li> <li>港湾施設の長寿命化計画を策定することで、港湾施設が充実し、市民の不安解消につながった。</li> </ul>													
II 定量的指標の達成状況	指標①（安全・安心生活エリアのカバー率）	最終目標値	94.2%	目標値と実績値に差が出た要因	安全・安心生活エリアとして、新たに整備面積5.09haが増えたが、都市計画道路と合わせ、土地区画整理事業で行っている区画道路の整備計画延長が100%整備できなかったため目標値に達しなかった。										
		最終実績値	94.0%												
	指標②（生活道路における住民満足度）	最終目標値	-0.07 ポイント	目標値と実績値に差が出た要因		生活道路における満足度は、事業実施前に比べ、0.02ポイント向上したが、目標値には達することができなかった。要因として、一部の都市計画道路の整備完了や土地区画整理事業の推進に伴い生活道路の新設による利便性の向上を認めつつも、市内には今だに狭い生活道路も多く、住民の不満解消までにはつながらなかったため。									
		最終実績値	-0.16 ポイント												
	指標③（港湾施設の長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値	100%												
II-2 その他の数値指標 （設定した定量的指標以外の指標）による効果発現状況	その他指標① （住宅・宅地の環境満足度）	従前値	0.19 ポイント	効果発現要因	指標2と同じく市民意識調査アンケートにおける、住環境の整備に関する満足度道路整備に対する住民満足度は目標値に達しなかったが、住宅・宅地の環境満足度は0.02ポイント向上している。効果要因として、都市計画道路の整備とともに、土地区画整理事業等の都市基盤整備を推進を図ることで、住民にとって住みやすい環境が整い、事業の相乗効果が見られたため。										
		実績値	0.21 ポイント												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の人口は減少傾向であるが、都市計画道路の整備後、その周辺宅地化及び人の定住化に寄与している。</li> </ul>													

## 3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路五井線は、交付対象事業から外したが、平成25年度・平成26年度の2ヵ年で整備し、すでに供用開始している。計画の目標及び定量的指標に寄与する事業であるため、計画からは除外しなかった。</li> <li>今後も災害に対し備えのできた安全生活エリアの拡大を図るため、都市計画道路整備事業とともに土地区画整理事業を推進していく。</li> <li>今後も道路整備事業と一体となって、道路標識や施設案内看板を新たに設置していくことで、車両等が生活道路へ誤進入することを防ぎ、地域住民の安全安心な、居住環境改善に努める。</li> <li>港湾事業について、維持管理計画に基づき適正な管理に努める。</li> </ul>														
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

